

平成26年度第1回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1 開催日時・場所

平成26年7月15日（火曜日）午前9時30分から午前11時30分まで
東京都健康安全研究センター 本館6階会議室

2 議事及び報告事項

(1) 平成25年度第2回専門委員会に基づく公益社団法人東京都医師会及び公益社団法人東京都薬剤師会の各会員への情報提供について

次の事項について報告した。

- ・平成25年度第2回専門委員会における検討の結果、積極的に情報収集に努めるものとされた事例について、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ留意すべき関連情報も含めて情報提供するとともに、類似事例の収集への協力を依頼したこと。
- ・平成18年7月1日から平成25年11月30日までに収集した事例を編集した資料を作成し、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ提供したこと。

(2) 事例の検討について

平成25年12月1日から平成26年5月31日までの間に都医師会、都薬剤師会を通じて収集した15事例について検討を行った。

検討の結果、積極的に情報収集するよう努めるものとされた3事例について、都医師会、都薬剤師会を通じて各会員へ留意すべき関連情報も含めて情報を提供するとともに、類似事例の収集への協力を依頼した。

(3) 収集事例の集計結果について

平成18年7月1日から平成26年5月31日までに収集した298事例について、次のとおり報告した。

なお、製品と症状との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。

ア 収集事例の内訳

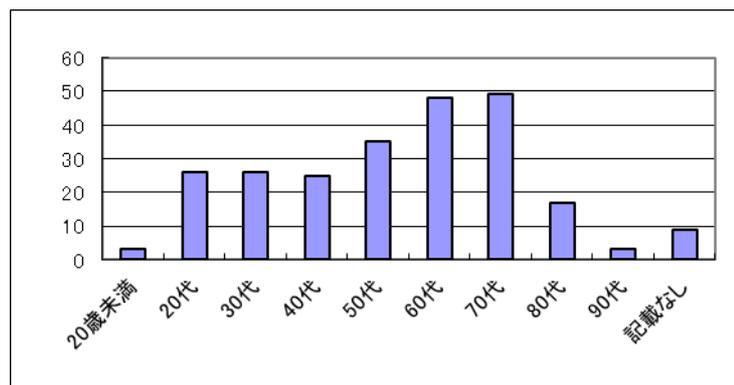
医師会	141人	延べ	186製品
薬剤師会	100人	延べ	112製品
計	241人	延べ	298製品

イ 年齢別人数分布

年齢	患者数	利用目的の主な内訳 (その他・不明・記載なしを除く)
20歳未満	3	健康維持・増進・栄養補給 2、ダイエット 1
20代	26	健康維持・増進・栄養補給 3、ダイエット 13、バスタップ 2、美肌 2、強精 1
30代	26	健康維持・増進・栄養補給 5、ダイエット 11、美肌 4、血液をさらさらに 1
40代	25	健康維持・増進・栄養補給 6、ダイエット 7、関節痛(ひざなど) 1、美肌 2、強精 1、ドライアイ 1
50代	35	健康維持・増進・栄養補給 18、ダイエット 4、関節痛(ひざなど) 7、美肌 4、癌予防 1
60代	48	健康維持・増進・栄養補給 13、ダイエット 3、関節痛(ひざなど) 12、血液をさらさらに 1、美肌 1、強壮 1
70代	49	健康維持・増進・栄養補給 16、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 15、血液をさらさらに 3、美肌 1、頻漏尿改善 1
80代	17	健康維持・増進・栄養補給 7、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 8、血液をさらさらに 1、美肌 1、味覚異常 1
90代	3	関節痛(ひざなど) 1
記載なし	9	健康維持・増進・栄養補給 1、ダイエット 2
合計	241	健康維持・増進・栄養補給 71、ダイエット 43、関節痛(ひざなど) 44

健康維持・増進・栄養補給はすべての年代、ダイエットは20～40代、関節痛は50～80代が多い。

人数 (N=241)



年齢別人数分布によると、50～70代が多い。

ウ 性別割合

性別割合によると、女性 (182人、76%) は、男性 (54人、22%) の3倍以上であった。

エ 症状・異常所見等

症状・異常所見等	患者数
発疹・発赤・掻痒	91
肝機能障害	38
胃痛・胃部不快感・吐き気	29
下痢・軟便	18
頭痛・吐気	11
尿酸値の上昇	3
めまい・ふらつき	7
血圧上昇	5
その他(検査値異常、味覚異常等)	98

※ 複数回答あり

症状・異常所見等で最も多かったものは「発疹・発赤・掻痒」の 91 名で、全体の 30.3%を占めている。次いで「肝機能障害」が 38 名 (12.7%)、「胃痛・胃部不快感・吐き気」が 29 名 (9.7%) であった。

なお、症状と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿
(五十音順・敬称略)

	氏名	所属
	梅垣 敬三	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 情報センター長
	小林 弘幸	公益社団法人 東京都医師会 理事
	志村二三夫	十文字学園女子大学 副学長、人間生活学部 教授
○	原 博	公益社団法人 東京都薬剤師会 副会長
	廣畑 俊成	北里大学医学部 膠原病・感染内科 教授
	水谷 太郎	筑波大学 医学医療系 救急・集中治療部教授
	山口 隆司	特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 事務局長

(○) 座長